

H16_ 良好な景観形成に資する公園緑地の整備手法検討調査

調査項目 良好な景観形成に資する公園緑地の整備手法検討調査

調査年次 平成16年度(5次調査) 章番号〔 〕

目的

大都市における景観形成施策の動向を把握し、景観形成における公園緑地の役割と効果把握、良好な景観形成に寄与する公園緑地のあり方の検討、景観法と連携した公園緑地施策の展開方策を検討する。

概要

大都市の景観形成に関わる現状を把握するとともに、10箇所のモデル地区を設定して公園等を中心とした地区の景観の実態を把握を行い、次年度調査の方向性をまとめた。

結果

モデル地区における都市景観形成に寄与している役割

都市を代表する公園、もしくは都市の顔となる地区に立地する。

上記立地特性から、都市居住者のみならず多くの来街者の利用が認められる。

景観形成地区指定後、今後の景観形成誘導が認められている地区に立地する。

歴史的な公園が多く、都市景観にボリュームのある緑景観を提供している。

公園周辺の街区は大都市特有の特徴であるといえる高層建築物が立地している。

モデル地区における今後の景観形成に向けて留意すべき事項

都市施設や都市基盤施設整備に伴って公園の一部区域、もしくは公園全体の再生が予定されている。

区画整理事業等新たな都市開発に伴う公園の景観形成が求められている。

可視領域からみた調査結果

公園外周長が大きくなるほど可視領域は増加する傾向を示すため外周長が都市景観形成に寄与。

大規模な公園が確保できない場合であっても小規模公園を分散して立地させることによって同等の景観効果を発揮することが示唆された。

都市景観形成における公園の役割

公園そのものの都市景観形成機能と、周辺の住宅やレストランはその価値を向上させる効果

公園や公園の緑が都市景観の骨格(拠点・軸線・スカイライン)を成す。

公園の緑が周辺街区に潤いや彩り(風格・建築物の威圧感・喧騒を緩和、自然的な景観要素)を与える。また、高度化する都市で俯瞰される公園景観の重要性が高まる。

緑豊かな都市景観づくりにおける拠点やモデルとなる。再整備では周辺街区の景観形成を先導して緑豊かなまちなみ景観形成の拠点となる機能も期待される。

公園を訪れる人による様々な活動が活力ある都市景観形成に寄与する。文化的活動の拠点ともなる

課題(公園等を中心とした地区の都市景観形成との連携における課題)

建物等による公園景観の障害 必要な土地利用コントロール等を講じる必要がある。

周辺街区との一体性・連続性の課題 周辺道路や都市との連携における一体性のある景観形成を図るための方策を講じる必要がある。

地区の有する景観資源が有効に活かされていない(人が立ち入れない・閉鎖施設や老朽化施設等の再整備・サインや周遊ルートの充実による周辺資源とのネットワークが求められる事例など)。

利用する空間としての公園内景観の課題 基本的には樹木等による都市的景観要素の影響を緩和する工夫が求められる。

調査結果の反映等

平成17年度調査において基礎データと現地調査結果として活用し、景観形成の方向性・施策のあり方検討。

調査項目 良好な景観形成に資する公園緑地の整備手法検討調査

調査年次 平成16年度(5次調査) 章番号〔 〕

キーワード

整備手法、景観法、モデル地区、ケーススタディ、可視領域、公園の役割

事例公園等

札幌市 大通公園

仙台市 西公園

東京都 日比谷公園、北の丸公園、(国会前庭 皇居)

名古屋市 徳川園 (文化の道)

京都市 二条公園

大阪市 中之島公園

神戸市 水笠通公園、御屋敷通公園

広島市 比治山公園、京橋川河岸

北九州市 勝山公園

福岡市 明治公園、藤田公園、出来町公園、東領公園、人参公園、中比恵公園、瑞穂公園、音羽公園、東住吉公園